教育目標「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」
重点目標 「 豊かな心　確かな学力　健やかな身体 」

中朝日子（あさひこ）

佐渡市立畑野中学校　学校だより
令和５年９月１日（金）　第４号
著・編　校長　福井 晴人（TEL 66-2058）
http://hatano-js.sado.ed.jp/
E-mail hatano-js@sado.ed.jp

Unleash the Fire within Your Heart

心の内に秘められた思いや情熱を解き放とう!!

いよいよ体育祭です！実行委員長や団長、パネル長に意気込みを聞いてみました。

体育祭実行委員長　Ｎさん

体育祭実行委員長になりました、３年の N です。実行委員長ということでとても緊張していますが、全校生徒一丸となって最高に盛り上がる楽しい体育祭を創り上げていきたいと思います。そのために、実行委員長として、練習からみんなをまとめられるように頑張っていきたいと思います。

今年度の体育祭で保護者や地域の方々に特に見て欲しいところがあります。それは、パネルと応援です。なぜかというと、全校生徒の日々の努力が一番形となって表れるからです。応援リーダーとパネル係は夏休み中からパネル製作や応援の振付決めなどを頑張ってきました。ぜひ、応援やパネルに注目してみてください。そして、全校生徒のみんなへ。「最高の体育祭にするために練習から頑張って、本番を全力で楽しみましょう。」

紅軍応援団長　Ｈさん

今回紅軍応援団長になりました、H です。今年の体育祭は、皆が心から楽しめて、大人になってもずっと覚えていられる体育祭にしたいと思います。

今年の紅軍の目標は、ズバリ「三冠」です。昨年、一昨年の素晴らしい団長でも達成できなかった「三冠」を達成したいと思っています。そのために、団長である自分が一番声を出して、楽しんで、テンションを上げていこうと思います。

青軍の皆さん、当日は全力をぶつけ合って楽しみましょう。

そして、紅軍の皆さん、元気と気合と筋肉をフル稼働して絶対に三冠をとりましょう!!

青軍応援団長　Ｋさん

青軍応援団長になった K です。中学生での体育祭は今年で最後になりました。僕は、この最後の体育祭を、思い出に残るような体育祭にしたいです。

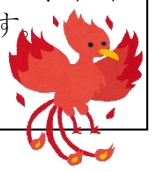
団長としての抱負は、何事にも全身全霊で取り組み、三冠を取れるように頑張る、ということです。しかし、僕や応援団だけでは三冠を取ることはできません。青軍全員が一致団結すれば、それは叶うと思います。不甲斐ないところもある団長ですが、みんなと協力して三冠を手にしたいです。

紅軍のみなさん、みんなで思い出に残るような体育祭にしましょう。そして、青軍の皆さん、体育祭まで残り数日ですが、当日はみんなの力で、白熱の体育祭にしましょう。

紅軍パネル長　Ｅさん

紅軍のテーマの『気炎万丈』に沿って、燃え盛る朱雀を描きました。工夫したところは、羽のグラデーションを炎のように表現したところです。また、白でフチ取りをして、メインの絵を目立たせるようにしたところも工夫の一つです。

「熾烈」は勢いが盛んで、激しいさま、という意味です。紅軍の皆が一丸となって、最後まで全力を尽くせるように、この言葉を選びました。パネルをより良いものにすることで、紅軍を盛り上げられたら良いな、と思います。



実際のパネルは、イラストと違います。
体育祭当日をお楽しみに！

青軍パネル長　Ｋさん

青軍のテーマである『飛竜闘魂』に合わせて中国の四神の一つである青龍を描きました。龍が空高く舞い上がるように高みを目指して頑張って欲しいという思いを込めました。「疾風」という文字には風のように速く走るという意味が込められています。青軍の色である青をベースに迫力を出すために躍動感のある立体的な龍を表現しました。見てもらいたいところは鱗の部分です。龍の鱗が伝わるように一つ一つ丁寧に描いたことと、影や光で立体感が出るよう工夫して色を塗りました。青軍みんなの頑張りをパネルで後押しできたらいいなと思います。そして昨年のパネルを超えられるようなものを完成させたいと思います。

令和５年度「私の主張　佐渡地区大会」の畑野中の代表作文です。

夏休み中の８月 24 日に佐渡島開発総合センターで標記の大会がありました。畑野中の代表として、３年生のＮさんが、堂々と発表をしました。内容も素晴らしいので、皆さんにも一読してほしいと思い、全文を掲載します。

ありがとう

三年　N

「ありがとう」

この言葉は、人と関わっていく上でとても大切だと僕は思います。その中でも両親への、「ありがとう」という言葉はこれまでも、そしてこれからもずっと大切にしたいと思うくらい僕にとって特別な言葉です。僕の両親は、いつ、どんなときでも僕の味方でいてくれます。僕が「あれやりたい」というと絶対に否定せず、全力で支えてくれます。でも、僕が悪いことをしたときには、しっかりと注意してくれます。以前は、注意されると腹がたっていつもけんかばかりしていました。その時は、いつも、「なんでこんなに言われないといけないんだろう」って思っていたけれど、今になって考えると僕が学生や社会人になったときに、非常識なことをしないようにという思いで、僕のために注意してくれていたんだなと両親の僕を思ってくれる優しい気持ちを察し、少し自分の行いや言動を反省しました。今では感謝の気持ちで一杯になっています。

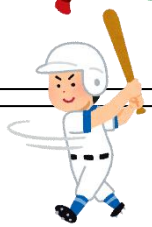
また、僕はバスケットボールが大好きです。小学校二年生からバスケットボールを始めて今でも大好きで続けています。その大好きなバスケットボールを、これまで元気に思いっきりやることができたのは、間違いなく両親のおかげだと思います。練習日にはいつも必ず体育館まで送迎してくれます。それがなければ、僕は練習すらできません。また、練習や保険にかかるお金や靴、練習の時に着るウェアなどは、全て親が払ってくれています。他にも練習のない日は、１対１をしてくれたり、シューティングとかを手伝ってくれたりしてくれます。全て、親に支えられてやれていることばかりです。小学校の時は何も知らず、ただバスケットボールを楽しんでいましたが、今だからこそ好きなことをできるありがたみを知り、親には感謝しなければならないと思っています。

このように、少し考えるだけでも、親に感謝しなければならないことがたくさんあります。しかし、僕はその気持ちを上手く親に伝えることができません。心の中では、感謝しているのに、本当は「ありがとう」と言いたいのに、いざ親に「ありがとう」という言葉を言うとなると、恥ずかしさや色々な感情で一杯になって、感謝の気持ちを上手く伝えることができなくなります。しっかり伝えなければならないと思えば思うほど何も言えなくなってしまいます。そして後になってから、（なんでありがとうを言わなかったのだろう）、（ちゃんと感謝の気持ちを伝えれば良かった）と考えてしまいます。次こそはしっかり思いを伝えようと思っても、結局何も言えなくなってしまいます。

小さい頃は、どんなささいなことでも相手の顔を見て、元気に「ありがとう」と言っていました。それが成長するにつれて、恥ずかしいと感じるようになり、上手く感情を伝えることができなくなりました。普段の会話では、全然しゃべれるのに「ありがとう」だけは上手く伝えることができません。自分の感情を伝えることができない自分が嫌になるときもあります。けれども、そんなことばかりではいけません。両親に感謝の気持ちを伝えなければならないと思っています。勇気を出して。そして自然に。

近い将来きっと、「お父さん、ありがとう。」「お母さん、ありがとう。」って。心から伝えられるように、できればいいと思います。恥ずかしさを捨てて、「本当にありがとう」という一言を。

夏休み中の大会も頑張りました！



〇男子バスケ　両津七夕・川開き佐渡中学校バスケットボール大会　優勝
　　第 30 回佐渡中学校親善バスケットボール交歓大会　３位
〇野球　　両津七夕・川開き第 41 回全佐渡中学校選抜野球大会　３位

体育祭の連絡です。ご来場をお待ちしております！

期日　令和５年９月９日(土)９時 45 分から
会場　晴天時　畑野小学校グラウンド、雨天順延 10 日(日)に実施
日程　開会式　9:45～10:00　　競技・応援　10：05～11：45、12：50～13：45　　閉会式　13:50～14:05